

令和5年度

定期監査報告書

浜中町監査委員

令和5年度定期監査報告書

浜中町監査委員 串 田 明

浜中町監査委員 高 橋 勇

1 監査の対象及び範囲

令和5年4月1日から令和5年9月30日までに執行された各課等における財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理

2 監査の期間

令和5年10月19日から令和5年11月28日までのうち5日間

3 監査の着眼点及び実施内容

関係法令等及び予算に基づき適正に執行されているかを主眼とし、経済性、効率性、有効性の観点にも留意しつつ関係書類による検査及び関係職員からの聞き取りにより実施した。

4 監査の結果

財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理については、おおむね適正に執行されているものと認める。

町長部局、各委員会部局、
議会事務局等各係の監査内容（報告）

1 総務課

総務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 総務係

議会招集及び提出議案の調整、儀式、交際、表彰、町勢沿革、行政区域、条例、規則等の制定、改廃及び整備、編さん並びに公告式、訴訟、審査請求の総合調整、許可、認可及び指令等、事務引継並びに事務報告、人権擁護、管理職会議、町村会、公平委員会に関することなどを業務としている。

許可・認可・補助の指令 118 件（前年対比 3 件減）、条例・規則・訓令の公布 84 件（前年対比 27 件減）、告示 59 件（前年対比 30 件増）を執行している。

予算執行状況は、歳入予算現額 3,213 千円に対し、調定額・収入済額ともに 2,965 千円で調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 104,290 千円に対し、支出済額 32,999 千円、執行率 31.6%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、町村会負担金ほか 18 件 2,960 千円が支出済である。

(2) 職員係

職員の任免、賞罰、分限、服務、給与、福利厚生、健康管理、研修、職員団体、職員住宅、その他職員に関することを主な業務としている。

9 月末現在までの職員の新規採用 16 人、退職者 5 人、給与支給状況は 410,083 千円である。

健康管理としては、健康診断 68 人、人間ドック 113 人が受診している。職員研修では、町主催で人事評価研修、新規採用職員研修を行っている。このほかに自己研鑽研修 6 人、町村会主催の研修に 26 人が参加している。

職員住宅は、12 棟 42 戸を管理している。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,355 千円に対し、調定額 4,660 千円、収入済額 2,718 千円で、調定対比 58.3%である。歳出は、予算現額 1,337,117 千円に対し、支出済額 610,691 千円、執行率 45.7%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、退職手当組合負担金ほか 4 件 24,962 千円が支出済である。

(3) 契約管理係

建設工事に係る契約等、交通安全対策、福祉バス、町有車両（他課に属するものは除く。）の維持管理、町有車両の安全運転管理及び事故処理、防犯活動及び関係団体、道路運送車両法に基づく自動車臨時運行事務、その他交通安全に関することを主な業務としている。

●工事等契約執行状況

なお、9 月末現在の各種工事などの契約状況は次のとおりである。

工事区分	件数	契約金額	対比
土木工事関係	11 件（前年対比 5 件減）	722,524,000 円	（前年対比 485,496,000 円増）
建築工事関係	15 件（ " 6 件増）	1,623,897,000 円	（ " 952,798,000 円増）

委託事業関係	20 件（前年対比 5 件減）	123,198,639 円（前年対比 32,580,061 円減）
合計	46 件（前年対比 4 件減）	2,469,619,639 円（前年対比 1,405,713,939 円増）
物品購入関係	15 件（前年対比 3 件増）	181,483,774 円（前年対比 79,192,849 円増）

交通安全対策としては、春の全国交通安全運動などに伴い街頭指導や広報車、防災無線等により啓発活動を随時行っている。

交通安全指導員（26 人）の出動状況は、旗の波啓発事業（夏と秋の 2 回実施）、町民駅伝大会、町民マラソン大会の 4 件延べ 21 人の出動があった。また、平成 31 年 4 月 28 日に発生した交通死亡事故以降、町内の交通死亡事故ゼロ日数は 9 月末現在で 1,616 日となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 15 千円に対し、調定額・収入済額ともに 40 千円、調定対比 100.0%。歳出は、予算現額 17,715 千円に対し、支出済額 7,122 千円、執行率 40.2%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、浜中町交通安全協会運営費補助金ほか 2 件 1,110 千円が支出済である。

（４）情報広報係

〇Ａ化の推進、電子計算機に係る総合調整及びデータ管理・保守、行政情報システムの調査、研究及び行政情報の利用の促進、情報公開、個人情報保護、各種統計調査、行政一般の周知、広報紙の発行、町のホームページに関することを主な業務としている。

〇Ａ化の推進については、ビジネスチャットツールを導入し職員間の情報伝達の効率化、電子申請やＲＰＡ導入検証による町民の利便性向上と事務の効率化を図っている。

情報公開については 9 月末現在開示請求はなく、今年度の基幹統計調査は 5 月に学校基本調査が実施されている。

毎月発行している「広報はまなか」や「浜中町ホームページ」、「防災無線」などを通じて情報を発信し、町民との情報の共有を図っている。またホームページを使った電子メールや町民との直接対話により、多くの意見や要望などを把握し、対応に努めている。

予算執行状況は、歳入予算現額 3,653 千円に対し、調定額・収入済額ともに 2,292 千円、調定対比 100.0%である。歳出は、予算現額 92,427 千円に対し、支出済額 46,912 千円、執行率 50.8%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、道自治体情報システム協議会負担金ほか 3 件 35,740 千円が支出済である。

2 企画財政課

企画財政課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。各係事務事業内容は、次のとおりである。

（１）企画調整係

まちづくり総合計画、重要施策の企画及び総合調整、辺地計画及び過疎計画、地域振興事業等、

人づくり事業、コミュニティ活動、広域行政及び広域事務組合、地域間交流、地域公共交通に関することなどを業務としている。

令和2年度から令和11年度までを計画期間とする「第6期浜中町まちづくり総合計画」は4年目となっている。実施計画については、基本構想・基本計画を踏まえ、毎年ローリングを実施し、将来像達成のため、検討と評価を行いながら計画の管理をし、また、「浜中町人口ビジョン」「浜中町創生総合戦略」についても令和2年度からの5か年計画となることから、随時見直しを図るとともに目標達成のため計画の管理を行っている。

さらに、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について、町として取り組む事業を取りまとめ、実施計画の作成や国への交付申請事務を行っている。

辺地計画と過疎計画については、財政上の臨時措置を受けるべく、辺地指定と過疎指定を受け、除雪機械や農道の整備等を進め、令和5年度は散布地区辺地の総合整備計画の策定、茶内地区辺地の総合整備計画の変更を行っている。

令和5年度における町の重点施策実現のため、関係官庁等に対して北海道釧路総合振興局や釧路地方総合開発促進期成会を通じて要望活動を実施しているほか、高速道路や高規格道路の整備事業の早期実現に向け、釧路開発建設部、北海道横断自動車道釧路地区早期建設促進期成会、北海道横断自動車道釧路・根室間建設促進期成会等と連携を図り、要望活動に参加している。

地域の住民活動団体が、自ら行う地域活性化事業などに対して補助を行う「地域振興補助」事業は、9月末現在で5事業1,242千円の補助決定を行っている。

コミュニティ活動の支援事業として、自治会連合会・単位自治会等と連携し、環境美化運動の推進や花いっぱい運動、新生活運動の推進を継続して行っている。加えて「コミュニティ助成事業」では地域活動の活性化を図っており、今年度は一新会が本事業を活用し、踊衣装一式や祭飾り、電子機器などを整備している。

地域間交流として、移住・定住を推進するため東京都で行われた移住フェアに参加している。お試し住宅は3月から9月末まで4組の利用があった。

地域・情報基盤等整備に関しては、光ファイバー整備が令和3年度末に完了し、今年度は引き続き光回線の利用率が向上するよう、広報紙等による周知を行っている。

地域公共交通運行実績として、9月末までの乗車人数6,384人、収入額686千円となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額60,218千円に対し、調定額・収入済額ともに15,848千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額98,993千円に対し、支出済額28,138千円、執行率28.4%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、地域振興事業補助ほか9件4,029千円が支出済である。

(2) 財政係

予算の編成及び経理、支出命令、地方交付税、町債、一時借入金、決算に関することなどを業務としている。

本年度の起債予算計上額は21件1,344,523千円であり、このうち、臨時財政対策債18,623千円が含まれている。令和4年度との比較では、予算計上額461,105千円増となっている。

普通地方交付税は交付決定額3,375,168千円となっている。

なお、令和5年度は、財政力指数3ヵ年平均21.2%（単年度21.3%）を見込んでいる。

(3) 管財係

公有財産の取得、管理処分、不用品の処分、財産台帳及び財産調書、その他管財に関することを主な業務としており、詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 14,721 千円に対し、調定額 13,016 千円、収入済額 7,896 千円、調定対比 60.7%となっており、歳出は、予算現額 59,998 千円に対し、支出済額 12,931 千円、執行率 21.6%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、下水道事業受益者分担金 189 千円が支出済である。

●町有財産の状況

○土地	総面積 40,007,547 m ² (うち山林面積 28,588,910 m ² 、立木推定量 347,182 m ³)
○建物	総面積 113,786.60 m ² (うち木造 19,078.78 m ² 、非木造 94,707.82 m ²)
○有価証券(株券)	1件 1,000,000 円
○出資金・出捐金	20件 87,455,395 円 (うち出資金 10件 65,463,395 円、出捐金 10件 21,992,000 円)

●土地建物貸付関係

○土地(有償分)			
・宅地	72件 (前年対比1件増)	17,552.34 m ² (前年対比 5,483.02 m ² 減)	1,649,970 円 (前年対比 130,970 円減)
・干場	70件 (前年対比増減なし)	82,842.98 m ² (前年対比 2,419.92 m ² 減)	1,214,170 円 (前年対比 40,790 円増)
・その他	101件 (前年対比4件増)	153,253.67 m ² (前年対比 6,914.68 m ² 増)	3,276,654 円 (前年対比 15,140 円増)
計	243件 (前年対比5件増)	253,648.99 m ² (前年対比 988.26 m ² 減)	6,140,794 円 (前年対比 75,040 円減)
○土地(無償貸付分)	141件 (前年対比3件減)	222,076.705 m ² (前年対比 1,046.5 m ² 増)	
○牧野	5件 (前年対比増減なし)	298,502.00 m ² (前年対比増減なし)	184,610 円 (前年対比増減なし)
○建物	47件 (前年対比2件増)	42棟 (前年対比2棟増)	3,711,300 円 (前年対比 273,900 円増)

●土地借用関係

24件 (うち無償 15件 148,839.09 m ²)	194,933.51 m ²	借地料	1,127,265 円 (前年対比 10,032 円減)
--	---------------------------	-----	---------------------------------

●財産の取得

○土地	7件	3,597.85 m ²	取得金額	3,050,274 円
-----	----	-------------------------	------	-------------

●財産の処分

○土石	岩石	10,000.0 m ³ (前年対比 8,081 m ³ 減)	処分量	2,200,000 円 (前年対比 1,777,820 円減)
-----	----	--	-----	------------------------------------

○立 木

天然林・広葉樹	108 本	50,668 円
	(前年対比 34 本増)	(前年対比 38,539 円増)

○不用品

車 輛	2 台 (H16 年式、H21 年式)
-----	---------------------

●公有物件共済加入状況

職員住宅ほか (共済責任額 9,362,878,000 円)	分担金	2,888,544 円
--------------------------------	-----	-------------

●町有施設保守管理委託状況

一般会計分として、消防用設備点検等 (42 施設) 4,143 千円、浄化槽保守点検 (16 施設) 995 千円、自家用電気工作物保安管理 (16 施設) 3,174 千円、暖房設備保守点検 (16 施設) 1,768 千円、地下タンク及び地下配管点検 (11 施設) 268 千円、排水再利用装置保守管理 (4 施設) 2,049 千円、昇降設備保守点検 (3 施設) 1,881 千円、煙道中の排ガス測定 (4 施設) 308 千円。これに浜中診療所特別会計分 4 件 (消防用設備点検等、自家用電気工作物保安管理、暖房設備保守点検、地下タンク及び地下配管点検) 501 千円を合わせた合計 116 施設 15,083 千円分の業務について委託契約を締結している。

3 税 務 課

税務課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 課 税 係・収 納 係

課税係は、町税の課税、町税に係る審査請求及び訴訟、固定資産評価審査委員会、固定資産の評価、固定資産等所在市町交付金及び納付金、固定資産課税台帳、その他課税に関することを主な業務としている。

収納係は、町税の徴収、町税の督促及び滞納処分、その他徴収に関することを主な業務としている。

本年度の町税収納率は、9 月末現在で普通税の調定額 822,315 千円に対し、収入済額 516,651 千円で 62.8%、国保税は調定額 366,237 千円に対し、収入済額 108,002 千円で 29.5%の収納率となっており、前年対比では、普通税収納率 0.3%増、国保税収納率 1.6%増となっている。

なお、町民の利便性向上及び収納強化のため、町道民税・軽自動車税・固定資産税・国保税、各種税外金はコンビニ・郵便局に加えてスマホ決済も納付可能となり、収納対策として有用な効果を発揮するよう今後も町民への周知を行うとともに、納付意識の向上に期待するものである。

また、町税等の納付に対する町民の公平性と信頼を確保するため、町独自の収納が困難な滞納事案を抽出のうえ「釧路・根室広域地方税滞納整理機構」に引継ぎ、滞納の解消に努めており、各種税外金についても所管している部署との連携を図り、税外等収納対策委員会の開催や随時指導を行いながら収納業務に尽力している。

予算執行状況は、歳入予算現額 805,947 千円に対し、調定額 826,651 千円、収入済額 520,987 千円、調定対比 63.0%となっており、歳出は予算現額 15,580 千円に対し、支出済額 5,877 千円で、執行率 37.7%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、釧路・根室広域地方税滞納整理機構負担金ほか3件579千円が支出済である。

4 住民環境課

住民環境課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 戸籍住民係

戸籍及び住民基本台帳、印鑑登録、諸証明、埋火葬の許可、犯罪人名簿、外国人住民に係る在留関連事務及び特別永住許可等、旅券事務、人口動態、電子署名に係る地方公共団体の認証業務、個人番号の指定及び通知並びに個人番号カードの交付等、総合案内に関することを主な業務としている。

令和5年9月末現在の住民基本台帳登録人口と世帯数では、人口5,351人(男2,625人・女2,726人)、世帯数2,506世帯となっており、前年対比で人口は87人減(男67人減、女20人減)、世帯数は17世帯の増となっている。

戸籍事務については、戸籍の届出の受理及び作成や証明書の交付を行っている。

各種証明の取扱いは、全町で4,758件(うち無料分983件。全町前年対比78件減)、1,801千円(前年対比99千円増)である。

予算執行状況は、歳入予算現額3,852千円に対し、調定額・収入済額ともに1,398千円、調定対比100.0%。歳出は、予算現額8,057千円に対し、支出済額4,047千円、執行率50.2%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道自治体情報システム協議会負担金ほか1件687千円が支出済である。

(2) 生活環境係

公衆衛生、廃棄物の処理及び清掃、墓地及び斎場、畜犬取締り及び野犬掃とう、公害、衛生諸施設の管理運営、その他生活環境に関することを主な業務としている。

4月～9月末現在までの収入証紙売捌状況及び衛生センターの稼働状況、ごみ処理の状況に係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額44,930千円に対し、調定額18,589千円、収入済額18,091千円、調定対比97.3%となっており、歳出は、予算現額358,194千円に対し、支出済額89,717千円、執行率25.0%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、資源物リサイクル活動奨励交付金ほか4件1,608千円が支出済である。

●収入証紙売捌・衛生センター稼働・ごみ処理の状況(4月～9月末)

○収入証紙売捌状況

93,265枚 7,212,900円(前年対比2,790枚増、103,200円増)

○衛生センター稼働状況

し尿処理量 907.75kℓ (前年対比 6.65kℓ増)
浄化槽汚泥等処理量 496.30kℓ (前年対比 155.50kℓ増)

○ごみ処理状況

可燃・不燃等・直接搬入・収集ごみ 704.52 t (前年対比 96.42 t 減)
資源物 229.83 t (前年対比 26.49 t 減)

(3) 環境政策係

環境政策の企画調整及び調査研究、自然環境の保全、地域エネルギー、環境対策、土地利用に関することを主な業務としている。

自然環境の保全について、特定外来生物に指定されているオオハングンソウを霧多布湿原センターと共同で町内の生息地の確認を行ったほか、2カ所で引き抜きによる駆除を実施した。また、再生可能エネルギー発電の申請は1件あった。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,623 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0% となっており、歳出は、予算現額 9,173 千円に対し、支出済額 352 千円、執行率 3.8% である。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道再生可能エネルギー振興機構負担金ほか 1 件 60 千円が支出済である。

5 浜中支所

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 戸籍住民係

戸籍及び住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬の許可、町税及び税外収入金の収納、国民健康保険及び国民年金に関することなどを主な業務としている。主査 1 人が配置されており、茶内支所・住民環境課のそれぞれ戸籍住民係が兼務発令され業務を遂行している。現金の取扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入調定額 152 千円、収入済額 144 千円、調定対比 94.7% である。歳出予算現額 706 千円に対し、支出済額 259 千円、執行率 36.7% である。

●現金取扱状況	有料 (納付書数)	無料 (納付書数)	引継金額
税金	455 件		5,002,863 円
総務手数料	362 件	13 件	152,100 円
介護保険料	25 件		162,100 円
後期高齢者医療保険料	34 件		568,600 円
清掃手数料	10 件		41,400 円
水道・住宅料ほか	237 件		1,662,836 円
合計	1,123 件	13 件	7,589,899 円
	(前年対比 14 件減)	(前年対比 11 件減)	(前年対比 857,378 円減)

6 茶内支所

関係諸帳簿、現金の保管及び取り扱いについて提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 戸籍住民係

戸籍及び住民基本台帳、印鑑証明その他諸証明、埋火葬の許可、町税及び税外収入金の収納、国民健康保険及び国民年金に関することなどを主な業務としている。主任と主事の2人のほか浜中支所・住民環境課のそれぞれ戸籍住民係が兼務発令され業務を遂行している。現金の取扱いに係る詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額794千円に対し、調定額557千円、収入済額540千円で、調定対比96.9%となっており、歳出は、予算現額4,571千円に対し、支出済額1,635千円、執行率35.8%である。

●現金取扱状況	有料（納付書数）	無料（納付書数）	引継金額
税金	773件		13,823,436円
総務手数料	798件	37件	348,900円
介護保険料	35件		132,100円
後期高齢者医療保険料	38件		605,700円
総務使用料	7件		179,220円
清掃手数料	21件		1,043,000円
水道・住宅料ほか	587件		3,973,247円
合計	2,259件	37件	20,105,603円
	(前年対比338件減)	(前年対比78件減)	(前年対比1,336,942円減)

7 保 険 課

保険課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 保険年金係

国民健康保険、後期高齢者医療、重度心身障がい者及びひとり親家庭等の医療費、子ども医療費、国民年金に関することを主な業務としている。

国民健康保険に関しては、9月末現在で被保険者1,035世帯（前年対比20世帯減）2,193人（前年対比90人減）が加入している。

国民健康保険制度の改正により、財政運営の責任は北海道が担い、保険証の発行や療養費等の申請、保険税の課税・徴収事務、保険事業は従来どおり浜中町が行うこととなった。保険給付に必要な費用は北海道が負担するが、その財源として市町村が北海道に対し、「国保事業費納付金」を納める方式となり、北海道は各市町村の医療費や所得等を基準に納付金の額を決定し、市町村はその納付金の額に応じた保険税を課税することとなっている。浜中町においては前年所得をもとに、前年

度の繰越金の一部を減税財源に充てるなど税率改正を行っている。

後期高齢者医療制度は、75歳以上と65歳から74歳で一定の障がいの状態のある者が対象であり、後期高齢者医療保険被保険者数は834人（うち75歳未満20人。全体数の前年対比3人減）である。

重度心身障がい者等に対し、医療費の一部を助成する各種医療費給付事業の対象者数は、重度心身障がい者医療給付事業77人（障32人、障老45人、前年対比2人減）、ひとり親家庭等医療給付事業139人（前年対比8人減）、子ども医療給付事業603人（前年対比43人減）、浜中町精神障がい者医療費助成事業13人（前年対比4人減）の合計832人（前年対比57人減）となっており、必要に応じ、随時助成を行っている。

国民年金については、年金給付、資格得喪、免除申請等の各種申請の進達、日本年金機構釧路年金事務所等からの調査依頼への回答や定期的に福祉年金、障害年金に係る所得調査等を行っている。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額54,117千円に対し、調定額1,211千円、収入済額1,186千円、調定対比97.9%であり、歳出は、予算現額173,278千円に対し、支出済額48,835千円、執行率28.2%となっている。

国民健康保険特別会計の歳入歳出予算総額は1,188,628千円で、歳入予算の割合は、国民健康保険税29.88%、道支出金65.65%、その他収入で4.47%となっており、歳出は、保険給付費63.53%、国民健康保険事業費納付金33.72%、その他支出で2.75%となっている。

予算執行状況は、歳入は、調定額279,746千円、収入済額277,934千円で調定対比99.4%。歳出では、支出済額452,818千円で、執行率38.1%となっている。

後期高齢者医療特別会計の歳入歳出予算総額は79,007千円で、歳入では、調定額52,569千円、収入済額23,446千円で調定対比44.6%。歳出の支出済額は27,220千円で執行率34.5%となっている。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道後期高齢者医療広域連合負担金ほか8件243,026千円が支出済である。

（2）地域包括支援係

地域包括支援事業、介護予防事業、日常生活総合事業に関することを主な業務としている。

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防訪問介護をしゃきょう介護センターえぞふうろ、介護予防通所介護をデイサービスセンターハイツ野いちごに委託のうえ実施している。要支援者配食サービスは地域生活支援センター・ハート釧路及び町社会福祉協議会と委託契約を結び、9月末までに要支援に認定されている13人（延べ51人）に対し584回の配食を実施している。介護認定を受けていない高齢者等については「包括的支援事業」により配食サービスを8人（延べ42人）に対し621回実施している。加えて、介護予防事業として健康教室やハツラツ倶楽部わっはっは、ほのぼのくらぶなどを実施しているほか、脳トレのプリントを配布するのうちDE脳トレを67人（延べ361人）に対して実施している。

また、地域包括支援センター事業として、保険課及び関係機関（社会福祉協議会、診療所、野いちご、訪問看護ステーションなど）の担当者によるケア会議を隔週で開催しているほか、総合相談として、延べ414件（電話175件、来所46件、訪問194件）の介護保険に関することや自立支援サービスに関すること、医療との連携や状況・安否確認、福祉用具の購入や備品の貸出しに関する本人や家族、関係機関や民生委員等からの相談に対応している。

介護保険特別会計のうち地域包括支援係に関する予算執行状況は、歳出のみで予算現額 34,232 千円に対し、支出済額 21,229 千円、執行率 62.0%となっている。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道総合研究調査会負担金ほか 6 件 2,203 千円が支出済である。

(3) 介護保険係

介護保険、ケアマネジメントセンターに関することを主な業務としている。

介護保険の申請状況は、新規・更新を合わせ第 1 号被保険者が 80 人、第 2 号被保険者（40 歳～64 歳）が 1 人の合計 81 人（前年対比 20 人減）である。

介護度別人数は、要支援 1（10 人）、要支援 2（17 人）、要介護 1（60 人）、要介護 2（48 人）、要介護 3（36 人）、要介護 4（37 人）、要介護 5（29 人）の合計 237 人となっており、そのうち施設入所または居宅サービスの利用人数は 192 人（前年対比 15 人減）である。

9 月末現在の介護保険料の収入状況は、調定額 100,522 千円に対し、収入済額 49,024 千円で、収納率は 48.8%となっており、前年対比 1.0%の減である。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額 7,873 千円に対し、調定額・収入済額ともに 2,497 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 78,325 千円に対し、支出済額 365 千円、執行率 0.5%である。

介護保険特別会計の歳入歳出予算総額は 495,718 千円で、歳入予算現額 495,718 千円に対し、調定額 265,561 千円、収入済額 214,063 千円で調定対比 80.6%。歳出は、予算現額 461,486 千円に対し、支出済額 180,302 千円で執行率 39.1%となっている。（歳出の予算現額は、地域包括支援係への配当分を減じた額で記載。）

負担金、補助及び交付金の状況は、国民健康保険保険者ネットワーク負担金 29 千円が支出済である。

8 健康福祉課

健康福祉課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 社会福祉係

生活保護、民生児童委員、障がい者福祉、地域生活支援事業、在宅福祉サービス、高齢者福祉、災害救助、その他社会福祉に関することなどを主な業務としている。

生活保護の状況は、高齢 24 世帯（27 人）、母子 2 世帯（6 人）、傷病 13 世帯（16 人）、障害 7 世帯（10 人）、その他 8 世帯（13 人）で、合計 54 世帯（被保護人数 72 人）、前年対比 5 世帯減（被保護人数 4 人減）である。

9 月末までの身体障害者手帳の交付状況は、新規交付 9 件、等級変更 3 件、再交付 1 件、住所変更 1 件、返還 6 件であり、手帳保有者は 240 人（うち重度障がい者数 103 人）前年対比 7 人減となっている。

町単独の敬老週間事業では、例年 8 月末日現在で対象者を選定し、満 88 歳の方 27 人（男 12 人、

女15人)に3万円、満99歳の方5人(男1人、女4人)に5万円の敬老祝い金を9月末日までに贈呈している。

また、自立支援ホームヘルプサービス事業(登録者10人)、外出支援サービス事業(登録者76人)については、浜中町社会福祉協議会に委託のうえ、登録者へ各サービスの提供を行っている。なお、9月末までに発生した火災1件に対し災害見舞金として50千円を支出している。

予算執行状況は、歳入予算現額176,772千円に対し、調定額75,017千円、収入済額74,471千円、調定対比99.3%となっており、歳出は、予算現額456,353千円に対し、支出済額239,000千円、執行率52.4%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、浜中福祉会補助ほか24件112,639千円が支出済である。

(2) 児童福祉係

児童、ひとり親家庭、要保護児童対策、児童手当、放課後児童クラブ、その他児童福祉に関することを主な業務としている。

15歳到達後最初の年度末までが対象となる児童手当は、6月支給分児童数が延べ1,793人(前年対比401人減)、支払額20,115千円(前年対比3,110千円減)である。

放課後児童クラブでは、児童57人(霧多布27人、茶内30人、前年対比霧多布1人増、茶内5人増)に対して6人の指導員を配置している。

予算執行状況は、歳入予算現額71,944千円に対し、調定額・収入済額ともに31,930千円、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額99,555千円に対し、支出済額48,134千円、執行率48.3%である。また、繰越明許費の歳出は繰越額2,133千円に対し、支出済額1,376千円、執行率64.5%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、子育て世帯生活支援特別給付金ほか2件4,155千円が支出済である。

(3) 健康推進係

健康増進、母子保健及び成人保健、歯科指導、栄養指導、感染症、その他疾病の予防、診療所に関することを主な業務としている。

母子対策では乳幼児の各種健診・相談事業に加え、産前産後サポート専門相談、産前産後ケアを町外助産院等3件に委託のうえ実施し、専門相談利用実績28件(前年対比増減なし)、産前ケア利用4人(前年対比1人増)、産後ケアは7人(デイケア型延べ22回(前年対比4回増)、宿泊型延べ13回(前年対比10回増))が利用している。

成人対策では20才~74才の国民健康保険加入者の特定健康診査や各種がん健診を令和4年度から無料で実施しており、受診率向上に取り組んでいる。

その他感染症対策として予防接種事業の実施やエキノコックス症対策、広域救急医療対策としてティーベック株式会社委託の24時間電話相談可能な「浜中町健康・医療相談ダイヤル24」事業、栄養対策、歯科対策など、広く町民の健康維持・増進などに関わる保健事業等を実施している。

一般会計の予算執行状況は、歳入予算現額36,562千円に対し、調定額5,792千円、収入済額40千円、調定対比0.7%となっており、歳出は、予算現額113,150千円に対し、支出済額48,507千円、執行率42.9%である。繰越明許費の歳入は、繰越額5,283千円に対し、調定額・収入済額ともに502千円、調定対比100.0%となっており、歳出は繰越額3,547千円に対し、支出済額390千円、

執行率 11.0%である。

また、国民健康保険特別会計のうち健康推進係に関する予算執行状況は、歳入予算現額 2,096 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円で調定対比 0%となっており、歳出は、予算現額 12,253 千円に対し、支出済額 3,783 千円、執行率 30.9%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、厚岸郡広域救急医療体制負担金ほか 7 件 21,084 千円が支出済である。

9 保 育 所

保育所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 保育業務係

保育業務、子育て支援センター、その他保育所に関することを主な業務としている。

常設の霧多布保育所（定員 140 人）及び茶内保育所（定員 80 人）は、定員 220 人に対して 112 人（前年対比 14 人減）の幼児が入所している。霧多布保育所は 54 人（5 歳児 18 人、4 歳児 6 人、3 歳児 20 人、2 歳児 5 人、1 歳児 4 人、0 歳児 1 人）の幼児に対し、保育士 12 人（前年対比 1 人減）のうち 4 人は保育助手、管理栄養士 1 人、調理員 2 人の体制であり、茶内保育所は 58 人（5 歳児 9 人、4 歳児 18 人、3 歳児 12 人、2 歳児 10 人、1 歳児 6 人、0 歳児 3 人）の幼児に対し、保育士 14 人（前年対比 1 人減）のうち 4 人は保育助手、調理員 3 人で対応している。

子育て支援センターは 9 月末まで延べ 1,373 人が利用し、保育士 2 人が対応している。一時預かり保育では 9 月末まで延べ 22 人が利用し保育士 1 人が対応しており、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに努めている。

へき地保育所の運営については、散布・浜中・姉別の 3 ヲ所を開設し、幼児数 45 人（前年対比 6 人増）に対して保育士 11 人（前年対比 4 人増）のうち 2 人は保育助手で保育にあたっている。

また、保育所では地震、火災に対する避難訓練を実施しているほか、季節のイベントを取り入れた年次計画に基づく行事を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 39,526 千円に対し、調定額 6,797 千円、収入済額 3,736 千円、調定対比 55.0%となっており、歳出は、予算現額 120,336 千円に対し、支出済額 48,867 千円、執行率 40.6%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道社会福祉協議会会費（保育協議会）ほか 4 件 398 千円が支出済である。

10 防災対策室

防災対策室防災係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 防 災 係

防災計画及び防災対策、緊急災害の統括、防災無線、水防計画、国民保護計画及び国民保護対策、

消防、空家等対策、その他防災に関することを主な業務としている。

津波防災避難訓練については、5月24日津波防災避難訓練と防災講演会を実施し、避難訓練には775人、講演会には71人が参加した。また、4月には津波避難対策に係る住民説明会を4地区で開催し110人が参加した。

空家等対策として、不良空家等除却補助の申請が9月末までに5件あった。

監査実施日現在、本町においては地震や停電、台風による被害は発生していないが、各種災害に関する町民への情報提供や防災意識の高揚を図る対策は継続して求められるものである。

予算執行状況は、歳入予算現額211,900千円に対し、調定額・収入済額ともに0円、調定対比0%となっており、歳出は、予算現額690,432千円に対し、支出済額253,837千円、執行率36.8%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、釧路東部消防組合浜中消防署負担金ほか4件153,769千円が支出済である。

11 商工観光課

商工観光課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 商工労働係

商工業の振興、商工団体、地場産品等の振興、中小企業、企業誘致、消費生活、計量器、労働事業の調査及び相談教育、労働者の福祉・共済、技能尊重運動及び事業内職業訓練等、その他商工業に関することを主な業務としている。

商工業の振興に資する地域経済活性化促進奨励補助事業は、9月末現在4件876,000円の申請があった。

地場産品等の振興を目的として9月28日から9月30日までの3日間、さっぽろオータムフェスト2023「さっぽろ大通ほっかいどう市場」に参加し、本町の商品宣伝を図っている。

地域経済活性化促進事業補助として、電子地域通貨システムルパン三世Pay導入によるキャッシュレス運用に係わるポイント還元助成、サマーフェスタ'23 夏まつり盆踊り花火大会、沖縄県与那原町少年少女体験相互交流事業へ補助を行っている。

労働業務については、労働者の福祉・共済に向けた出稼手帳の交付（新規発行1件）を実施している。

また、商工業者の担い手確保に向けて平成29年度から開始している商工業後継者就業交付金事業による新規支援対象者は、9月末現在申請がない状況である。

予算執行状況は、歳入予算現額46,089千円に対し、調定額・収入済額ともに0円、調定対比0%となっており、歳出は、予算現額73,894千円に対し、支出済額62,772千円、執行率84.9%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、町商工会補助ほか10件22,305千円が支出済である。

(2) 観光係

観光の振興、自然公園の保全と利用、湿原センターの管理運営委託、霧多布湿原学術研究支援制度、その他観光に関することを主な業務としている。

観光客誘致宣伝として、観光広告の掲載ほか、北海道観光振興機構、釧路観光連盟、釧路町・厚岸町・浜中町で形成される三町広域観光推進協議会、釧路町村会地域づくり広域プロジェクト事業へ参加・協力しており、各種観光パンフレットや資料などの配布を行っている。

地域活性化を目指すパン三世関連事業の展開では、プロジェクト会議、コレクションの展示、ラッピングバス運行事業、ホームページの更新等を実施している。またモンキー・パンチ・コレクションの8月末での来場者は4,278人である。

今年度はうまいもん市を中止し、9月10日に霧多布岬展望台駐車場にて「ミニきりたっふ岬祭&ラッコ鑑賞会」を開催し350人が来場した。

キャンプ場の利用状況では、有料であるバンガロー利用が1,088人、684棟（前年対比121人減、23棟減）となっており、無料のテント利用は1,874張、2,354人（前年対比424張増、572人増）である。

また、本年度は霧多布湿原学術研究支援制度による助成支援の申請は0件である。

霧多布湿原センター管理運営委託に関しては、特定非営利活動法人「霧多布湿原ナショナルトラスト」に令和2年4月から令和7年3月まで指定管理委託が決定している。9月末現在での開館日数179日、入館者数20,640人（前年対比3,382人増）である。

予算執行状況は、歳入予算現額1,187千円に対し、調定額・収入済額ともに1,194千円で、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額76,848千円に対し、支出済額58,989千円、執行率76.8%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、霧多布湿原センター管理運営負担金ほか14件46,224千円が支出済である。

(3) ふるさと納税推進係

ふるさと納税に関することを主な業務としている。

ふるさと納税の9月末現在の状況は、34,717件616,797千円（前年対比18,874件増、357,104千円増）となっている。ふるさと納税推進に係る拡充・強化として、4月に新規ポータルサイトの「セブン・マイナビ」を開設し、PRパンフレットの刷新、特設サイトの新規製作を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額1,100,000千円に対し、調定額・収入済額ともに347,839千円で、調定対比100.0%となっており、歳出は、予算現額1,100,009千円に対し、支出済額178,570千円、執行率16.2%である。

(4) ふれあい交流・保養センター係

センターの管理運営、センターの利用拡大、その他ふれあい交流・保養センターに関することを主な業務としている。

町民の保養と健康づくりを通じて交流を図るとともに、災害時における避難施設としての活用を図ることを目的とした施設であり、令和5年度は9月末現在で入浴者37,471人（前年対比2,867人増）、営業日数183日、1日平均204人が利用している。

また、管理運営等に関しては、霧多布温泉「ゆうゆ」プロジェクト（代表 株式会社クロエ）が令和5年4月1日から令和10年3月31日まで指定管理委託が決定している。

予算執行状況は、歳出予算現額 54,392 千円に対し、支出済額 32,162 千円、執行率 59.1%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、ふれあい交流・保養センター管理運営負担金ほか 2 件 29,818 千円が支出済である。

(5) 中山間活性化施設係

施設の管理運営、利用拡大、その他中山間活性化施設に関することを主な業務としており、会計年度任用職員 4 人が常勤し、係長は商工労働係長が兼務している。

中山間活性化施設（MO-TTO かぜて）は、農・漁業の生産物に付加価値を付けるための研究や開発を目的とした施設であり、町内の多くの女性団体や個人、学校等が利用している。9 月末現在の利用者並びに来館者は延べ 1,478 人（前年対比 463 人減）となっており、施設内の利用のほか敷地内の多目的広場やキャンプ場の活用を通じ、地域と都市の交流を図っている。

予算執行状況は、歳入予算現額 586 千円に対し、調定額 321 千円、収入済額 313 千円で、調定対比 97.5%となっており、歳出は、予算現額 20,299 千円に対し、支出済額 5,711 千円、執行率 28.1%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、釧路地方食品衛生協会負担金ほか 1 件 11 千円が支出済である。

12 建設課

建設課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 土木係

道路橋梁及び側溝の新設改良、道路橋梁の維持管理、土木車両の維持管理、土木工事、河川、土石及び砂利採取、都市計画、地籍、その他土木に関することを主な業務としている。

道路及び河川の占用許可数は、道路 54 件（前年対比 2 件減）、河川 34 件（前年対比 16 件減、許可した 34 件の内訳は土地 8 件、工作物 24 件、水利 2 件）となっている。

工事執行状況は、土木工事など 6 件（前年対比 1 件減）で請負金額 167,002 千円（前年対比 83,336 千円増）、調査設計等委託業務 7 件（前年対比 3 件減）で請負金額 74,692 千円（前年対比 9,073 千円減）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 67,246 千円に対し、調定額 1,825 千円、収入済額 1,820 千円、調定対比 99.7%となっており、歳出は、予算現額 381,643 千円に対し、支出済額 96,321 千円、執行率 25.2%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道土木積算システム連絡協議会負担金ほか 1 件 287 千円が支出済である。

(2) 建築係

建築基準法、建築指導、建設リサイクル、屋外広告物、建築物の設計及び施工管理、その他建築

に関することを主な業務としている。

本年度は、建築確認申請 0 件（前年対比増減なし）、建設リサイクル法に係る通知 33 件（前年対比 2 件増）を 9 月末までに受理・受付している。

工事等の執行状況は、工事 9 件（前年対比 4 件増）で請負金額 1,270,885 千円（前年対比 1,085,535 千円増）、調査設計等委託業務 1 件（前年対比 3 件減）で請負金額 38,500 千円（前年対比 5,104 千円増）となっている。

安心住まいる促進事業は、9 月末現在 37 件（前年対比 4 件増）の申請があり、この事業に伴う金券発行額は 4,601 千円（前年対比 659 千円増）となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 521 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0% となっており、歳出は、予算現額 5,840 千円に対し、支出済額 2,859 千円、執行率 49.0% である。

負担金、補助及び交付金の状況は、安心住まいる促進事業助成金 2,560 千円が支出済である。

（3）住宅管理係

公営住宅の入居及び維持管理処分、公営住宅の建設計画、集会施設の維持管理に関することを主な業務としており、詳細は以下のとおりとなっている。

予算執行状況は、歳入予算現額 122,547 千円、調定額 42,537 千円、収入済額 16,569 千円、調定対比 39.0% となっており、歳出は、予算現額 345,976 千円に対し、支出済額 118,378 千円、執行率 34.2% である。

●公の集会施設利用状況

公の集会施設（26 施設）は、延べ 642 回 10,875 人に利用され、前年対比で利用回数 204 回、利用人数 615 人の増となっている。

●町営住宅管理状況

町営住宅は、団地数 11 団地、棟数 42 棟、保有戸数 221 戸。入居は 160 戸で 61 戸が空家となっており、このうち 6 戸は政策空家である。

町営住宅使用料の高額滞納に係る徴収等については、ほかの入居者との公平性を維持する視点から町税等収納対策委員会や関係各課で情報共有を図り、今後も一層の債権回収に努められたい。また、引き続き町営住宅管理マニュアル（チェックマニュアル）等のルールに則った町営住宅の管理を期待するものである。

13 上下水道課

上下水道課の水道事業会計と下水道事業会計については、出納室同様、支払及びその記録等が例月出納検査により立証されているため、その他の業務について関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

（1）水道係

農業用水道、その他水道に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 86,912 千円に対し、調定額 43,142 千円、収入済額 42,963 千円、調定対比 99.6%となっており、歳出は、予算現額 95,267 千円に対し、支出済額 29,841 千円、執行率 31.3%である。

●使用料収入状況	調定額	収入済額	収納率
農業用水	40,321 千円	40,141 千円	99.6%

14 水産課

水産課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 漁政係

水産業関係団体、漁業制度資金、漁業生産構造、水難救護、漁業の担い手確保、沿岸漁業の振興、船員法、水産物の流通加工及び衛生管理、津波防災ステーションの管理運営、水産統計に関することなどを主な業務としている。

漁業機器等購入資金貸付事業では 0 件（前年対比増減なし）で、その償還状況は、歳入予算現額 920 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 千円、調定対比 0%となっている。

また、漁業の担い手確保に向け、漁業後継者就業交付金事業による支援対象者は新規 2 人を含む 9 人を承認している。道立漁業研修所総合研修受講補助は、申請者がいない状況である。

漁港整備については、道が事業主体となり火散布漁港の東防波堤工事、渡散布・藻散布漁港の浚渫及び琵琶瀬漁港の物揚場・船揚場の改修工事が実施され、また、高潮、津波、浸食等による町民の生命・財産を守るための高潮対策事業については、道事業主体のもと長期計画により榊町漁港海岸、琵琶瀬漁港海岸及び榊町から琵琶瀬までの建設海岸における防潮堤嵩上工事が実施されているほか、海岸保全対策として恵茶人海岸の護岸整備についても、道事業主体で実施されている。

予算執行状況は、歳入予算現額 14,819 千円に対し、調定額・収入済額ともに 181 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 58,521 千円に対し、支出済額 15,094 千円、執行率 25.8%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、漁業近代化資金利子補給ほか 9 件 1,821 千円が支出済である。

●登録漁船数、陸揚量、陸揚金額の状況等（港勢調査の概要（令和 3 年分）より）

対象漁港：散布、琵琶瀬、榊町、浜中（奔幌戸）、浜中（貫人）	5 漁港				
登録漁船数	564 隻	陸揚量	5,910.3 t	陸揚金額	1,996,706 千円
	(前年対比 23 隻減)		(前年対比 511.7 t 減)		(前年対比 137,014 千円減)

●漁業近代化資金利子補給承認状況

(単位：円)

	浜中漁業協同組合		散布漁業協同組合		合計	
	件数	承認額	件数	承認額	件数	承認額
1号資金	2	2,930,000	-	-	2	2,930,000
2号資金	1	1,420,000	-	-	1	1,420,000

3号資金	-	-	-	-	-	-
4号資金	-	-	-	-	-	-
合計	3	4,350,000	-	-	3	4,350,000
前年対比	△4	△5,580,000	△3	△6,560,000	△7	△12,140,000

(2) 水産振興係

水産業に係る環境保全、栽培漁業、沿岸漁場の整備開発、水産業に係る試験研究等の調整、漁業技術の改良普及、水産資源の管理、その他水産業の振興に関することを主な業務としている。

本年度は、平成29年度より整備している新川船揚場整備事業が今年度事業最終年度で、右側延長37.13mを鋼矢板、上部コンクリート工事を行っているほか、琵琶瀬瀬戸及び新川航路の航路掘削工事を実施した。

栽培漁業については、関係機関との連携協働のもと推進を図り、ウニ種苗生産センターが供用開始となり、施設の運営は浜中町ウニ種苗センター運営委員会に委託している。

近年大雨被害を受けやすい散布ウニ養殖施設については、これまでの塩分データを基に大阪公立大学等と協同で今後の対策を検討しており、今年度から海水モニタリングシステムを導入するなど安定的な生産体制の構築に取り組んでいる。また、新たな増養殖事業として実施するナマコ放流事業については種苗購入費を補助予定である。

予算執行状況は、歳入予算現額24,352千円に対し、調定額・収入済額ともに0円で、調定対比0%となっており、歳出は、予算現額155,008千円に対し、支出済額9,276千円、執行率6.0%となっている。

負担金、補助及び交付金の状況は、水産資源環境整備事業負担金ほか6件5,303千円が支出済である。

(3) 港 湾 係

港湾、国土交通省港湾局所管に係る海岸保全に関することを主な業務としている。

港湾施設の利用状況は、港湾施設用地使用件数8件（前年対比2件減）、物揚場・岸壁使用件数84件（前年対比104件減）、漁船捲揚施設使用件数28件（前年対比3件増）、船揚場使用件数0件（前年対比39件減）となっており、合計は120件（前年対比142件減）である。

港湾整備事業については、昨年度まで霧多布港で行われていた国直轄港湾整備事業での補修工事が終了し、今年度から休止港となった。

予算執行状況は、歳入予算現額5,970千円に対し、調定額2,530千円、収入済額2,510千円、調定対比99.2%となっており、歳出は、予算現額22,986千円に対し、支出済額9,920千円、執行率43.2%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道港湾協会負担金ほか1件231千円が支出済である。

15 農 林 課

農林課各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 農 政 係

農業関係団体、農業後継者、新規就農者の誘致及び育成、産業振興資金貸付（家畜購入）、農業関係制度資金、家畜防疫対策、その他農業に関することを主な業務としている。

家畜購入資金貸付事業は、予算現額 6,000 千円に対して 9 月末時点では申請がない状況で、貸付金の償還状況は、調定額 4,468 千円に対し、償還済額 250 千円、償還率 5.6%となっている。

なお、農業の担い手確保に向けた農業後継者就業交付金事業による支援対象者は、前年対比 6 人増の 8 人分を予算化している。

予算執行状況は、歳入予算現額 7,765 千円に対し、調定額 4,700 千円、収入済額 482 千円、調定対比 10.3%となっており、歳出は、予算現額 78,682 千円に対し、支出済額 17,205 千円、執行率 21.9%である。また、事故繰越の歳入は、繰越額 780,769 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0%となっており、歳出は、繰越額 780,769 千円に対し、支出済額 0 円、執行率 0%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、(有) 浜中町就農者研修牧場負担金ほか 8 件 14,399 千円が支出済である。

(2) 農業振興係

農業振興地域整備計画、土地改良事業、農村環境、日本型直接支払交付金事業、その他農業基盤整備に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 159,947 千円に対し、調定額・収入済額ともに 94,381 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 225,993 千円に対し、支出済額 127,941 千円、執行率 56.6%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、中山間地域等直接支払交付金ほか 4 件 127,061 千円が支出済である。

(3) 林 務 係

町有林の整備及び管理、民有林の経営指導、治山事業、林業関係団体、林野火災予防、鳥獣保護、有害鳥獣の駆除、林道、緑化事業、保安林、その他林業に関することを主な業務としている。

町有林整備事業では、人工造林、下刈等について、予算額 35,645 千円のところで、9 月末日までに各事業合計 32,080 千円で契約のうえ実施している。

予算執行状況は、歳入予算現額 84,219 千円に対し、調定額・収入済額ともに 16,164 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 116,640 千円に対し、支出済額 43,266 千円、執行率 37.1%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、浜中町鳥獣被害防止対策協議会負担金ほか 8 件 1,703 千円が支出済である。

16 町立浜中診療所

町立浜中診療所各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 総務係・医事係

総務係は、職員の進退及び服務、諸給与及び共済、条例、規則、規程等、職員の保健及び福利厚生、公印管守、予算編成及び財政計画、財産管理及び物品の購入等、自動車の使用管理、その他他係に属さないことに関することを主な業務としている。

医事係は、患者の診察受付及び入退所、診療報酬の請求及び収納、診療契約、診療録の整理及び保管、患者の諸証明、患者の福利厚生、医事統計、報告、申請、届出、薬剤の調合及び製剤、薬品の保管及び受払に関することなどを主な業務としている。

浜中診療所特別会計における歳入歳出予算総額は371,432千円で、歳入予算の構成割合は、診療収入22.9%、使用料及び手数料5.4%、国庫支出金6.4%、繰入金49.6%、繰越金2.5%、諸収入0.2%、町債12.9%である。診療収入は前年対比9.2%減になっており、依然として一般会計からの繰入金等（繰入金と町債で歳入全体の62.5%を占めている。前年対比1.6%増。）が多く、経営上厳しい状況であることに変わりはない。

歳出の予算構成割合では、総務費87.6%（総務費の構成割合は、浜中診療所管理に要する経費25.0%、浜中診療所運営に要する経費75.0%）、医業費9.1%（医業費の構成割合は、医業に要する経費86.1%、入院患者等寝具に要する経費3.6%、入院患者等給食に要する経費10.3%）、公債費3.2%、予備費0.1%となっており、歳出予算のうち大きな割合を占めるのは、報酬、給料、職員手当等、共済費、報償費で58.8%となっている。

経営状況は、9月末現在の医業収益で前年対比患者数4,522人、金額で10,956千円の減が認められる。減少の主な要因は、新型コロナワクチン接種に係るものである。

予算執行状況は、歳入では、調定額52,620千円に対し、収入済額52,486千円、調定対比99.7%となっており、歳出は、支出済額133,099千円で、執行率35.8%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、釧路市医師会費ほか4件3,056千円が支出済である。

17 出 納 室

現金の収入保管、支払及びその記録等については例月出納検査により立証されているため、その他の事務について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 出 納 係

現金（現金に代えて納付される証券並びに基金に属する現金及び歳入歳出外現金を含む）の収入保管並びに支払及びその記録、支出命令の審査、支出負担行為の確認、歳入歳出決算の調整、小切手の振出、有価証券（公有財産又は基金に属するものを含む）の出納保管、財産の記録、管理、帳簿、証書類の保管、その他、収入、支払に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額10千円に対し、調定額・収入済額ともに5千円、調定対比100.0%となっており、歳出は予算現額2,679千円に対し、支出済額791千円で、執行率は29.5%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、指定金融機関である大地みらい信用金庫に対し、派出窓口業務負担金540千円が支出済である。

18 教育委員会

教育委員会各課・係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。
各係事務事業内容は、次のとおりである。

(1) 管 理 課

① 総 務 係

教育委員会の会議、事務局及びその他の教育機関の職員の任免その他人事、教育員会規則及び規程の制定又は改廃、公印の管理、文書の收受、発送及び保管、表彰及び儀式、渉外、請願及び陳情、奨学資金に関することなどを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 1,528 千円に対し、調定額・収入済額ともに 500 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 22,069 千円に対し、支出済額 8,790 千円、執行率 39.8%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、管内町村教育委員会連絡協議会負担金ほか 3 件 569 千円が支出済である。

●奨学金給付状況

大学生・短大生	0 人 (前年対比 1 人減)	月額	11,000 円 (前年同額)
専門学校生	3 人 (前年対比 2 人増)	月額	11,000 円 (")
高校生	14 人 (前年対比 5 人減)	月額	5,500 円 (")
合 計	17 人 年額 1,320,000 円		(前年対比 4 人減、198 千円減)

② 学校教育係・指導室

学校教育係は、教職員の人事、学校の設置及び廃止、学校施設及び教職員住宅の管理、学校施設の使用許可、学校図書館、教科書その他の教材の取扱、教具、教材の充足計画及びその実施、児童生徒の就学及び転出入等、教科書の給与などを主な業務としている。

指導室は、学校における教育課程、学習指導、その他学校教育に関する専門的事項の指導事務、教職員の研修に関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 9,166 千円に対し、調定額 3,941 千円、収入済額 1,723 千円、調定対比 43.7%となっており、歳出は、予算現額 255,083 千円に対し、支出済額 84,580 千円、執行率 33.2%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、町教育研究所負担金ほか 14 件 6,289 千円が支出済である。

なお、9 月末日現在の児童生徒数は下表のとおりとなっている。

●町内各学校の状況

学校名		児童数	生徒数	学級数	教員数	備 考
小 学 校	霧多布	71 人		9	16 人	
	浜 中	47 人		7	14 人	
	茶 内	99 人		10	16 人	

小 中 併置校	散 布	23 人	14 人	6	14 人	
中 学 校	霧多布		45 人	6	14 人	
	浜 中		12 人	3	10 人	
	茶 内		46 人	5	14 人	
合 計		240 人	117 人	46	98 人	

●要保護及び準要保護児童生徒の状況

小学校 要保護 1 人、準要保護 55 人（前年対比 要保護増減なし、準要保護 13 人増）

中学校 要保護 3 人、準要保護 20 人（前年対比 要保護 1 人減、準要保護 6 人増）

合 計 要保護 4 人、準要保護 75 人（前年対比 要保護 1 人減、準要保護 19 人増）

●教員住宅使用状況 小・中学校合計 71 戸（うち老朽戸数 21 戸） 調定額 3,941 千円

（２）生涯学習課・総合文化センター

① 社会教育係・総合文化センター係

社会教育係は、生涯学習の推進及び調整、学習相談及び資料の収集・提供、社会教育施設の設置、管理及び廃止、成人教育、青少年教育及び青少年問題、芸術文化の振興、文化財の保存・活用に関することを主な業務としている。

総合文化センター係は、芸術・文化活動の練習、発表の場及びレクリエーション等の利用、各種研究会・講座等の開設及び場の提供、図書の貸出し等の事業、郷土資料等の活用及び保存、住民の集会、その他の公共的利用、その他センターの目的達成に必要と認める事項に関することを主な業務としている。係長 1 人、学芸員の主査 1 人、主任 1 人、社会教育主事 1 人が 2 つの係を兼務している。総合文化センター係については会計年度任用職員を 1 人雇用している。

総合文化センターは今年度施設の改修工事により 9 月から休館している。事務室及び職員は総合体育館へ移動し業務を行っている。図書室も総合体育館内へ移動し事業を行っているが夜間解放は休止している。また各種サークルや同好会等の団体の活動についても総合体育館で行っている。

社会教育係の予算執行状況は、歳入予算現額 1 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0%となっており、歳出は、予算現額 8,872 千円に対し、支出済額 4,806 千円、執行率 54.2%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、地区青少年健全育成会補助ほか 11 件 3,070 千円が支出済である。

総合文化センター係の予算執行状況は、歳入予算現額 289 千円に対し、調定額・収入済額 107 千円、調定対比 100.0%となっており、歳出は、予算現額 649,560 千円、支出額 277,602 千円、執行率 42.7%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道公民館協会負担金ほか 3 件 69 千円が支出済である。

●総合文化センター利用状況

開館日数 131 日、利用件数 215 件、利用者数 14,077 人

※令和 5 年 8 月末までの実績。

●総合文化センター図書貸出

利用者数 916 人（夜間 50 人） 前年対比 106 人増

貸出冊数 2,788 冊（夜間 159 冊） 前年対比 66 冊減

その他の実績（団体）15 件 364 冊 （宅配図書）24 件 399 冊

※ 図書室夜間解放は令和 5 年 8 月末までの実績。

② スポーツ係

社会体育施設の設置、管理及び廃止、スポーツ推進委員及びこれらの会議、スポーツ団体の振興、スポーツ関係資料の収集及び提供、スポーツ及びレクリエーションの普及、スポーツ指導員の養成、講習会等の開設及び奨励、その他スポーツに関することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 384 千円に対し、調定額 260 千円、収入済額 256 千円、調定対比 98.5%となっており、歳出は、予算現額 70,994 千円に対し、支出済額 27,182 千円、執行率 38.3%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、町スポーツ協会補助ほか 7 件 2,722 千円が支出済となっており、9 月末現在ではスポーツ振興補助として中学校 2 校（茶内、散布）、霧多布高等学校、浜中ジュニアバレーボールクラブの各大会出場に伴い延べ 5 件の申請があり、837 千円を支出している。

なお、各体育施設等の利用状況の詳細については下表の「各施設利用状況」のとおりとなっている。

●各施設利用状況

社会体育施設等名称		開館・開放日数	利用者総数 (団体・個人含む延べ数)	前年対比
屋 内	浜中町総合体育館	157 日	5,212 人	794 人増
	農業者トレーニングセンター	153 日	2,554 人	231 人減
	浜中町民温水プール	125 日	2,721 人	1,057 人増
	すくらむ 2 1	157 日	1,126 人	284 人増
	(小計)	-	11,613 人	1,904 人増
屋 外	総合グラウンド	128 日	1,036 人	354 人増
	霧多布スポーツ広場	128 日	420 人	129 人増
	農村運動広場	128 日	442 人	278 人増
	町民パークゴルフ場	143 日	1,025 人	148 人減
	(小計)	-	2,923 人	613 人増
学 校 開 放 外	霧多布小学校	12 日	140 人	5 人増
	西円地域体育館	0 日	0 人	211 人減
	(小計)	-	140 人	206 人減
合 計		-	14,676 人	2,311 人増

(3) 霧多布高等学校

①管理係

高等学校予算・経理、教職員の給与、教職員の福利厚生(共済・互助会)、学校施設(校舎・グラウンド・教員住宅)の管理、高等学校授業料等の収納、高等学校の物品の調達及び管理、スクールバスの管理運行、一般事務、その他高等学校に関することを主な業務としている。

生徒のスキルアップに繋がる基礎学力診断テスト、社会人常識マナー検定、日本漢字能力検定などを受験する生徒に対し受験費用を9月末では延べ127人に対して補助を行っている。

予算執行状況は、歳入予算現額10,988千円に対し、調定額8,981千円、収入済額1,511千円、調定対比16.8%となっており、歳出は、予算現額68,945千円に対し、支出済額25,175千円、執行率36.5%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、国内視察研修負担金ほか5件5,665千円が支出済である。

なお、9月末日現在の生徒数は下表のとおりとなっている。

●学校の状況

学年	生徒数	学級数
1 学年	19 人	1
2 学年	24 人	2
3 学年	19 人	1
合 計	62 人	4

(4) 学校給食センター

①総務係・業務係

総務係では、給食センターの管理運営、職員の衛生管理及び福利厚生、給食センターの衛生管理、配送車の管理運営などに関することを主な業務としている。

業務係は、給食物資の調達、給食物資の受払及び保管、給食の献立及び調理、供給配送など給食業務に関することを主な業務としている。

センターの運営については、調理員9人を会計年度任用職員として雇用し、9月末現在の給食実施状況は、供給日数102日、供給食数は53,193食となっている。

予算執行状況は、歳入予算現額8,508千円に対し、調定額7,099千円、収入済額3,850千円、調定対比54.2%となっており、歳出は、予算現額118,891千円に対し、支出済額39,450千円、執行率33.2%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、学校給食費助成金ほか2件115千円が支出済である。

19 議会事務局

議会事務局各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 議事係・庶務係

議事係は、本会議、常任委員会、特別委員会、公聴会、議案の取扱い、議決及び決定事項の通知並びに報告、議員の出欠席、議場の整理及び傍聴、請願及び陳情、会議録に関することなどを主な業務としている。

庶務係は、文書、公印の管理、儀式・交際及び接遇、議員の身分、官公署各団体との連絡、職員の人事・給与・服務及び研修、予算の経理及び物品の購入、出納保管、議員報酬及び費用弁償、関係条例・規則等の整備、議長会に関することなどを主な業務としている。

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 54,653 千円に対し、支出済額 30,392 千円、執行率 55.6% となっており、主な支出は、議会議員に要する経費の報酬及び手当 17,729 千円、共済費 8,882 千円である。

負担金、補助及び交付金の状況は、議長会負担金ほか 1 件 414 千円が支出済である。

20 監査委員事務局

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 監査係

予算執行状況は、歳出のみで予算現額 2,919 千円に対し、支出済額 1,253 千円、執行率は 42.9% となっており、主な支出は監査委員報酬の 773 千円である。

負担金、補助及び交付金の状況は、釧路町村等監査委員協議会運営費負担金ほか 1 件 42 千円が支出済である。

21 選挙管理委員会

関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 事務局

今年度は、4 月 9 日に北海道知事選挙及び北海道議会議員選挙、4 月 23 日に浜中町議会議員選挙が実施された。

予算執行状況は、歳入予算現額 5,702 千円に対し、調定額・収入済額ともに 0 円、調定対比 0% となっており、歳出では予算現額 31,172 千円に対し、支出済額 15,219 千円、執行率 48.8% である。

負担金、補助及び交付金の状況は、12 月に支出予定である。

22 農業委員会

農業委員会各係について、関係諸帳簿及び提出資料に基づき説明を求め、監査した。

(1) 農政係・農地係

農政係は、委員会業務の総合企画運営、文書の收受、発送及び整理、保存、予算の経理及び物品の出納保管、条例、規則、その他例規、公告式、委員会の会議、農地等利用最適化推進施策の企画立案及び意見の提出、委員の選任、農業後継者・担い手対策、農業者年金事務に関することなどを主な業務としている。

農地係は、農地法による事務、自作農創設維持、農地等の交換分合及びこれに付随すること、農地等の利用関係のあっせん、調整、登記事務、農地保有合理化促進事業、農地所有適格法人、農地台帳、その他法令によりその権限に属することを主な業務としている。

予算執行状況は、歳入予算現額 7,979 千円に対し、調定額 1,185 千円、収入済額 1,183 千円、調定対比 99.8%となっており、歳出は予算現額 12,794 千円に対し、支出済額 6,158 千円、執行率 48.1%である。

負担金、補助及び交付金の状況は、北海道農業会議拠出負担金ほか 2 件 242 千円が支出済である。

●農地法許可関係

農地法第 3 条	(売買)	7 件	973,762 m ²	(前年: 5 件	1,011,318 m ²)
〃	(贈与)	0 件	0 m ²	(前年: 0 件	0 m ²)
〃	(賃貸借)	13 件	2,406,724 m ²	(前年: 14 件	3,633,395.89 m ²)
〃	(使用貸借)	5 件	2,561,837.36 m ²	(前年: 5 件	2,517,901.93 m ²)
農地法第 4 条	(農地転用)	3 件	3083.79 m ²	(前年: 3 件	16,978 m ²)
農地法第 5 条	(農地転用)	2 件	0 m ²	(前年: 2 件	8,154 m ²)

●農地保有合理化事業 (買入)	2 件	649,417 m ²	(前年: 0 件	0 m ²)
(売渡)	2 件	1,801,242.71 m ²	(前年: 0 件	0 m ²)

●農地中間管理事業	0 件	0 m ²	(前年: 0 件	0 m ²)
-----------	-----	------------------	----------	--------------------

●農業経営基盤強化促進事業

担い手農地利用調整事業 (賃貸借)	5 件	1,690,838 m ²	(前年: 5 件	1,645,603 m ²)
〃 (所有権移転)	0 件	0 m ²	(前年: 1 件	763,528 m ²)
〃 (利用権移転)	0 件	0 m ²	(前年: 0 件	0 m ²)
利用権設定等促進事業 (賃貸借)	0 件	0 m ²	(前年: 7 件	765,916 m ²)
〃 (所有権移転)	1 件	127,989 m ²	(前年: 4 件	465,256 m ²)
〃 (利用権移転)	1 件	56,298 m ²	(前年: 5 件	309,992 m ²)

●利用集積計画公告件数

公告内容	件数	面積
所有権移転	1 件	127,989 m ²
賃貸借設定	5 件	1,690,838 m ²
利用権移転	1 件	56,298 m ²

●土地の現況証明願件数

20 筆 417,238.05 m²

(内訳：地目変更 10 筆、地目確認 10 筆)

●農業者年金申請等の状況 (受給者数 155 人)

裁定請求 (新制度) 5 件 (内訳：老齢年金 3 件、特例付加年金 2 件)

〃 (旧制度) 2 件 (内訳：老齢年金 2 件、経営移譲年金 0 件)

未支給年金請求 0 件

新規加入 1 件

資格喪失 3 件

任意脱退 0 件

その他届出 11 件

●農地所有適確法人数

23 法人 (前年対比増減なし)